

学校だより

平成26年12月3日 第12号

発行責任者

古道小学校長 根内 喜代重

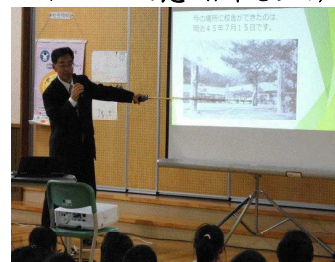
校長室より

〈全校集会「学校創立記念日 校長講話」より 2014.12.1〉

『私たちの学校 ～古道小学校の歴史と伝統～』

本来の地で学校を再開して約9ヶ月、本校の教育活動が滞りなく推進され、子どもたちも毎日元気いっぱい過ごしています。これもひとえに保護者や地域の皆様のお陰であることに改めて感謝申し上げます。

さて、「古道小学校の子ども」と申しながらも、1～4年生は古道の校舎で学ぶのがはじめてであり、教職員の多くもここでの勤務ははじめてです。そこで、学校の歴史や伝統を知り、学校や自分に対する自信と誇りがもてるようにするため、学校の歴史について話す機会を設けました。つきましては、その内容の一端を紹介させていただきます。



学校創立記念日にあたり、

学校の誕生と移り変わり

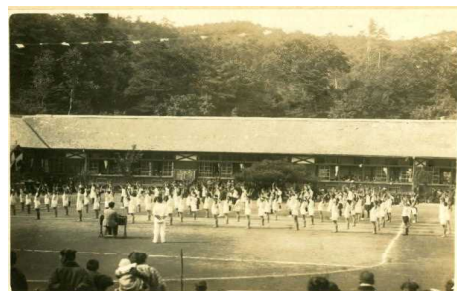
今日は、古道小学校の誕生日です。明治6年12月1日生まれで、141歳になります。明治6年は、みなさんのおじいちゃんの、そのおじいちゃんの、そのまた、おじいちゃんが生まれたころになります。

こんなにも長い間、この古道小学校では、たくさんの方が勉強してきたんですね。昭和34年には、何と514人もの方が学んでいて、これまでの卒業生は約4,600人になります。多くの卒業生が都路や日本のためにがんばり、それがみなさんの幸せにつながっているのです。やがて、みなさんが多くの人のためになるように一生懸命勉強しなければなりませんね。

昔の学校の様子です。これは、昭和7年の運動会ですが、校庭にオルガンのようなもの

があります。音響機器はなかったので、校庭で演奏しながらやっていたんですね。これは、昭和44年の授業や鼓笛パレードのようすです、...

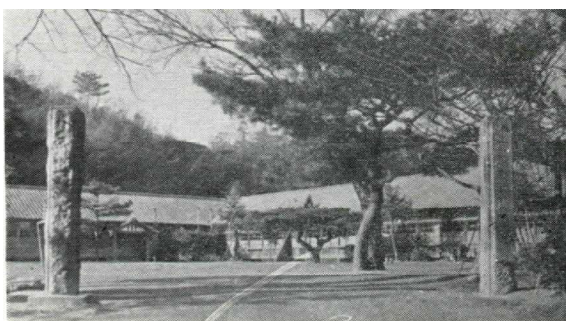
さて、古道小学校は、今も古道にある「円壽寺」というお寺をお借りしてスタートしました。明治8年に新町8番地に新しい校舎が建ち、今の場所へは明治45年に校舎が建てられました。「笠松」は、このとき学校玄関前に植えられたものです。昭和40・41年の校舎改築の際は、伐採の話も出たようですが多くの人の願いや努力で残すことができました。



運動会 S7年. 9月



昭和40年代



旧校舎

学校の名前も次のように移り変わっています。 古道小学校（明治6～19年）→ 古道尋常小学校（明治20～22年）→ 都路尋常小学校（明治23～26年）→ 古道尋常小学校（明治27年～大正6年）→ 古道尋常・高等小学校（大正7年～昭和15年）→ 古道国民学校（昭和16～21年）→ 古道小学校（昭和22年～平成17年2月）：中学校へ併設（※昭和26年10月、都路中学校独立）→ 田村市立古道小学校（平成17年3月～現在）

古道小学校と大久保小学校の関係を紹介します。

- 明治20年 古道尋常小学校の大久保分教室
- 明治21年 大久保簡易小学校として独立
- 明治23年 都路尋常小学校(古道・大久保・岩井沢が一つ)
- 明治26年 大久保尋常小学校として独立・・・
- 平成20年4月 古道小学校と大久保小学校が統合



ひとりの大先輩

古道小学校の長い歴史の中で、みなさんも知っている一人の大先輩を紹介します。古道小学校で3年生まで勉強していた渡辺チイ子さんで、昭和6年生まれの83歳になります。



チイ子さんは、毎年、みなさんに沢山の本を買うことができるお金をおくってくれています。みなさんのお父さんやお母さんが小学生の頃からずっとです。今年もたくさんのお金を注文しました。もうすぐ届くと思いますので、どんどん読んでください。

でも、チイ子さんは、お金持ちだからおくってくれるのではありません。無駄づかいをしないで、ぜいたくをしないで、いっしょうけんめいにお金をためて、みなさんにおくってくれるのです。

チイ子さんは、どうしてこんなにしてまで、みなさんのためにお金をおくってくれるのでしょうか。チイ子さんが、みなさんに伝えたいことは、どんなことなのでしょう。チイ子さんは、みなさんにどうなってほしいのでしょうか。

12月18日はチイ子さんの誕生日です。

今度は、みなさんのお手紙をおくってはどうぞ。チイ子さんに伝えたいことをたくさん言葉にして。



『自信と誇り』をもって

私たちの古道小学校は、たくさんすばらしい先輩が学んだ本当に歴史と伝統がある学校なのです。学校にある「笠松」は、校庭に植えられてから100年以上にわたって、この光あふれる丘の上で元気に仲良く一生懸命に学ぶ古道小の子どもたちをずっと見てきたのでしょね。こんなにすばらしい学校で学ぶことができることに、どうか自信をもってください。古道小学校の子どもであることに誇りを持ってください。そして、自分の目標に向かって堂々とがんばりましょう。これからの未来をつくるのは、みなさんです。



これで、学校創立記念日の校長先生のお話を終わります。

人は、自分の居場所に自信と誇りを持つことが必要です。

それが生きる支えになり、学ぶ意欲につながると考えます。

学校は、家庭や地域と同じように、子どもたちの大切な居場所の一つです。今日の話が、子どもたちにとって自分や学校に自信と誇りを持って生きていく一つの機会になってくれることを願っています。